

～令和4年度事業報告書～

1. 総合相談システムの充実

(1) 専門分野の相談事業

日常生活における町民の相談に対し、民生委員児童委員や介護支援専門員、社会福祉士等の専門職による相談体制の充実を図り、「心配ごと相談」、「介護相談」等を実施しました。

① 心配ごと相談（民生委員：町助成事業）

毎月第1金曜日に実施しました。

相談件数：1件

② 福祉と暮らしの相談窓口（社会福祉協議会）

住民の生活や福祉についてのアドバイスや情報提供を行うとともに、必要に応じて専門の機関につなげました。

相談件数：43件

- ・生活福祉相談：21件
（生活福祉資金7件、緊急支援9件、日常生活自立支援5件）
- ・その他：12件

③ 介護相談（地域包括支援センター）

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師により総合相談支援業務を行いました。

相談件数：延べ3,857件

（訪問：1,570件、電話：2,101件、来所：186件）

2. 地域で生活するためのサービスの提供

(1) 紙おむつ・尿とりパット給付事業

低所得世帯の在宅で寝たきりになっている高齢者等を対象に、紙オムツ、尿とりパットを給付しました。

登録者数：3名

給付回数：延べ4回

(2) 移送サービス事業（町受託事業）

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方の外出時の利便を図るため、病院等への送迎を実施しました。

実利用者数：18名～27名/月

稼働回数：延べ401回

(3) 給食サービス事業（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、ボランティアグループ「ふきのとう老人お楽しみ会」と栄養士の協力を得て、バランスのとれた食事を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるために実施しました。

なお、令和2年2月18日を最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できませんでしたが、約2年3か月ぶりとなる5月10日からは1回あたりの利用人数を制限し、再開することができました。

実施回数：20回
実利用者数：3名～7名/回
食数：延べ109食

(4) 配食サービス事業（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に、調理済みの食事（夕食）を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。

実利用者数：25名～31名/月
配食数：延べ3,931食

(5) 理容・美容サービス事業

在宅の寝たきりの高齢者の方や理容店・美容院の利用が困難な障がい児者を対象に、町の理美容店の協力を得て、自宅に出張して散髪を実施しました。

利用者数：1名
利用回数：延べ3回

(6) 見守りネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者等を地域全体で見守っていくため、介護・福祉・医療・行政機関だけでなく、各団体や商店、金融機関等へポスターやチラシを置かせていただくなど呼びかけを実施しました。

(7) レスパイトサービス事業

障がい児者が、施設や学校の長期休暇中にレスパイト事業を実施している団体（まるやまわかくさの会）に対して、事業への支援を実施しました。

開催日	場所	備考
8月19日（金）	横浜方面	参加者：14名

(8) 高齢者等の生きがい事業

①いきいきサロン

高齢者が誰でも自由に参加して自分自身の生きがいと楽しい仲間を見つける場として11回実施しました。

実利用者数：14名～21名/回

②ニコニコ健康体操

高齢者の健康づくり推進事業として、火曜日コース（2グループ）、水曜日コース（2グループ）ともに各12回実施しました。

- ・火曜日コース Aグループ 実利用者数：9名～21名/回
Bグループ 実利用者数：9名～17名/回
- ・水曜日コース Cグループ 実利用者数：12名～17名/回
Dグループ 実利用者数：12名～22名/回

(9) 福祉機材貸し出し事業

- 車いす：13件
- ポータブルトイレ：9件

3. 福祉サービス利用支援と質の向上

(1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある9名の方に対し、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きの援助などを実施しました。

（認知症高齢者：6名 知的障害者：1名 精神障害者：2名）

(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者世帯に対して、無利子で生活福祉資金を貸し付けました。

（教育支援資金：1件 福祉資金：1件）

(3) 緊急援護貸付事業

一時的に困窮している世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長を目的に資金を貸し付けました。

（緊急援護貸付者：5名）

(4) 成年後見制度・権利擁護事業

社協は、令和4年度に足柄上地区1市5町で設置した「あしがら成年後見センター」の一次相談窓口となるため、一次相談窓口としてのスキルアップを目的とした研修に出席しました。

(5) 地域包括支援センター事業（町受託事業）

高齢者の暮らしをサポートするため、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員を配置し、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他日常生活支援などの相談に応じました。

① 権利擁護業務

延べ53件（虐待：11件 成年後見制度：42件 消費者被害：0件）

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域包括ケア会議（10回）、町内ケアマネ会（12回）、地域のケアマネジャーへの支援業務（440件）など

③ 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防教室利用に関する相談・対応：10件

④ 介護のつどい

開催日	場所	内容
1月24日（火）	生涯学習センター	テーマ：「乗ってみよう、触ってみよう～福祉用具の選び方～」 講師：㈱メディケア 山下氏・谷口氏 参加者：13名
2月28日（火）		テーマ：「気になるけど、なかなか聞けない～排泄ケアについて～」 講師：ユニチャーム㈱ 網頭氏 参加者：12名

4. 地区社協活動の支援

（1）地区社協活動を支援するための助成金交付

地区（住民）福祉協議会（町内8地区）へ助成金を配分し、活動を支援しました。

●地区福祉協議会助成金 2,300,000円

助成金の内訳：町1,700,000円、社協600,000円
人口比、会費徴収比により各地区の配分額を決定

●地区在宅支援活動費：280,000円

（活動費の内訳 35,000円×8地区）

（2）地区社協の活動の広報

山北町健康福祉センター西側通路に、地区（住民）福祉協議会の広報紙を掲示できるコーナーを設け、町民の皆さんの目にとまるようにしました。

また、ホームページに広報紙を掲載し、活動情報を広報しました。

5. 小地域福祉活動の充実

（1）小地域サロン活動への支援

小地域サロン実施団体へ助成金を交付し、活動を支援しました。

交付団体：9団体

交付金額：220,000円

6. 福祉団体の支援

(1) 福祉団体への助成金交付

町内にある各福祉団体の福祉活動事業に対し、助成金を交付しました。

団体名	助成金
山北町老人クラブ連合会	250,000円
まるやまわかくさの会	30,000円
足柄上郡手をつなぐ育成会山北支部	30,000円
NPO法人KOMNY地域作業所やまなみ工芸	30,000円
ともしびショップさくら	200,000円

(2) 福祉団体活動の活性化を促す協働事業

①世代間交流事業

●ポッチャで遊ぼう（老人クラブ連合会・一般社団法人「あすぽ」共催）

高齢者と子どものふれあいを目的として開催しました。

開催日	場所	内容
2月5日（日）	健康福祉センター	参加者：37名 （お昼は老連婦人部が作った七草がゆ）

●収穫祭〔ミニトマト・いも掘り〕（老人クラブ連合会の協力）

老人クラブ連合会の園芸部が、「生きがい農園」で栽培した、さつまいもやミニトマトを、やまきたこども園の園児に収穫してもらいました。

なお、さつまいもは5月17日（火）に園児と一緒に苗さしをしました。

開催日	場所	内容
7月20日（水）	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：29名 （園児：20名 老人クラブ9名）
8月4日（木）	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：34名 （園児：25名 老人クラブ9名）
10月24日（月）	生きがい農園	さつまいも収穫 参加者：38名 （園児：22名 老人クラブ18名）

②ともしびショップ「さくら」の支援

健康福祉センターに職員2名を常駐し、運営等の支援を行いました。

③やまぶき学級

「健康で明るく生きがいをもって高齢社会を生きる」ことを目的として、町福祉課、生涯学習課との共催で開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を50名と制限するとともに、4日間に短縮しての実施となりました。

開催日	場所	内容
10月7日(金)	生涯学習センター	<開講式> 実技 ～しなやかな心と体づくりのための健康体操～ 神奈川健康財団健康運動指導士
10月14日(金)	生涯学習センター	講演 ～かながわの人権課題～ 社会教育指導員 水野 博文 氏
10月21日(金)	生涯学習センター	講演 ～長い老後をよりよく過ごすための 「老い支度」～ 湘南江の島クリニック ケアプランセンター 代表取締役 今田 義昭 氏
10月28日(金)	生涯学習センター	芸術鑑賞 ～出前寄席(落語・ウクレレ漫談)～ 落語集団「雀の会」会員 <閉講式>

※参加者人数：40名(延べ118名)

④民生委員・児童委員活動との協働

民生委員・児童委員連絡協議会へ必要時に出席し、活動の協働を図りました。

7. 福祉人材の育成と確保

(1) ボランティアの発掘と登録

町内のボランティア団体の活動について、町社協広報紙(社協やまきた)に掲載するとともに、ボランティア活動への参加を呼びかけました。

8. ボランティアセンターの充実

(1) ボランティア活動保険への加入促進

町内在住のボランティアに対し、保険料と同等額を助成して、ボランティア保険の加入手続きを行いました。

加入者数：143名 助成額：20,750円

(2) ボランティア団体活動補助金の適切な交付

町社協へ登録している各ボランティアグループに対して事業を実施した分の助成を行いました

◆ボランティア連絡協議会助成 190,000円

◆ボランティアグループ助成(5グループ) 211,600円

(3) 災害時におけるボランティアの体制整備

災害ボランティアセンターのスタッフとしてお手伝いしていただける方のための養成講座を開催しました。

開催日	場所	内容
2月 1日 (水)	健康福祉センター	①「災害ボランティアセンターの基本的な運営と住民の関わり」 松田町社会福祉協議会 小嶋 利和 氏 ②「山北町災害ボランティアセンターについて」 山北町社会福祉協議会 相原 圭二 氏

※参加者数：13名

(4) 災害ボランティアセンター研修会

小規模な社協による人員や環境等が限られた体制での災害ボランティアセンターの運営の観点から、県災害ボランティアセンターをはじめとする県関係機関との連携や後方支援の在り方を学ぶ機会として、足柄上地区社協連絡会の職員向けの研修会に参加しました。

開催日	場所	内容
11月25日 (金)	松田町生涯学習センター	①「小規模な社協における災害ボランティアセンター運営への関係機関の支援について」 池上 謙吾 氏 ②「NPO 等と連携した長期的な被災者支援について」 手塚 明美 氏 参加者：県西地区2市8町社協職員等46名（うち山北町社協2名）

9. 福祉教育の推進

(1) 福祉体験学習

- 高齢者施設での体験学習（対象：山北中学校の生徒で希望者）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

- ボランティアによる講座（対象：山北中学校3年生全員）

中学校との調整の中で講座を行う日程を確保することが難しかったため、中止となりました。

(2) 認知症サポーター養成講座

山北中学校3年生を対象に、認知症高齢者等にやさしい地域づくりのため、認知症に対する正しい知識や対応方法を学んでもらうために実施しました。（54名参加）

10. 組織体制の強化

(1) 理事会、評議員会、各種部会の定期的開催

① 正副会長会

理事会、評議員会が円滑に行えるよう、事前に会長、副会長、事務局で主要な会議の議案についての打ち合わせを3回開催しました。

② 理事会・評議員会・監事会

● 理事会：執行機関である理事会を3回開催しました。

開催日	会場	内容
5月27日(金)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 令和3年度事業報告について</p> <p>第2号 令和3年度一般会計決算について</p> <p>第3号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会社会福祉基金の取り崩しについて</p> <p>第4号 令和4年度一般会計補正予算について</p> <p>第5号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について</p> <p>第6号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会福祉車両貸出事業実施要綱の制定について</p> <p>第7号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会日常生活自立支援事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について</p> <p>第8号 役員候補者について</p> <p>第9号 評議員候補者の推薦について</p> <p>第10号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>第11号 評議員会の招集について</p> <p>報告</p> <p>第1号 会長の職務執行状況について</p>
12月16日(金)	社協会議室	<p>議案</p> <p>第1号 令和4年度一般会計補正予算について</p> <p>第2号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>第3号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について</p> <p>第4号 役員候補者について</p> <p>第5号 評議員候補者の推薦について</p> <p>第6号 評議員会の招集について</p>

		第7号 第8回社会福祉大会について 第8号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第9号 福祉スローガンの決定について 報 告 第1号 会長の職務執行状況について
3月20日(月)	社協会議室	議 案 第1号 令和4年度一般会計補正予算について 第2号 令和5年度事業計画について 第3号 令和5年度一般会計予算について 第4号 山北町災害ボランティアセンター町民スタッフ登録要綱の制定について 第5号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について 第6号 評議員会の招集について

●**評議員会**：議決機関である評議員会を3回開催しました。

開催日	会場	内容
6月10日(木)	生涯学習センター	議 案 第1号 令和3年度事業報告について 第2号 令和3年度一般会計決算について 第3号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会社会福祉基金の取り崩しについて 第4号 令和4年度一般会計補正予算について 第5号 役員の選任について 報 告 第1号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について 第2号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会福祉車両貸出事業実施要綱の制定について
12月23日(金)	生涯学習センター	議 案 第1号 令和4年度一般会計補正予算について 第2号 役員の選任について 報 告 第1号 第8回社会福祉大会について 第2号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第3号 福祉スローガンの決定について
3月29日(水)	生涯学習センター	議 案 第1号 令和4年度一般会計補正予算について 第2号 令和5年度事業計画について 第3号 令和5年度一般会計予算について

		報 告 第1号 山北町災害ボランティアセンター町民スタッフ登録要 綱の制定について
--	--	---

●監事会：社協事業の実施状況、会計を監査する監事会を開催しました。

開催日	会場	内容
5月13日（金）	社協会議室	1. 令和3年度事業報告について 2. 令和3年度一般会計決算書について

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任を行うため、委員会を2回開催しました。

(3) 役員研修会の開催

足柄上地区社協連絡会・西湘地区社協連絡会の共催で開催しました。

開催日	場 所	内 容
1月24日（火）	開成町福祉会館	テーマ：自治会と社会福祉協議会の連携 講 師：駒澤大学文学部社会学科 川上富雄 教授 参加者：9名（山北町社協役員）

11. 事務局体制の強化

(1) 職員の研修会等

コロナ禍においてオンラインの研修が増えたことに伴い、参加機会も増え、経理研修や組織マネジメント研修、認知症研修、高齢者虐待防止研修など、積極的に参加し、職員の知識の向上を図ることができました。

12. 自主財源の確保

(1) 一般会費、賛助会費

賛助会員を増やすため積極的に事業所を訪問し、加入促進に努めました。

一般会員	2,975,000円
団体会員（19団体）	70,000円
賛助会員（164社）	731,000円
合 計	3,776,000円

(2) 寄付金

寄付件数：31件（内、物品寄付12件）

寄付金総額：1,521,794円

(3) 収益的事業

① 広告料

会社数：13社

広告料：50mm×85mm（5,000円） 7社

50mm×55mm（3,000円） 6社

広告料総額：244,000円

② 自動販売機

設置場所：山北町健康福祉センター1階&3階、ぐみの木公園

収入総額：421,382円（山北町に支払う電気代を除いた金額）

③ マッサージ機

設置場所：山北町健康福祉センターさくらの湯

収入総額：71,920円

④ 有料駐車場

有料駐車場の場所：社会福祉協議会駐車場の一部

契約台数：5台

収入総額：222,000円

(4) 赤い羽根共同募金、年末たすけあい募金

① 赤い羽根共同募金

種別	金額	内容
個別募金	664,000円	各家庭に協力いただいた募金
法人募金	277,000円	賛助会員（事業所など）に協力いただいた募金
職域募金	32,725円	役場の職員の方々に協力いただいた募金
学校募金	10,624円	町内の小・中学校と山北高校に協力いただいた募金
募金箱	7,370円	役場や社協の窓口に設置した募金箱に入れていただいた募金
その他	3,001円	クレジットカード等により協力いただいた募金
計	994,720円	

※上記募金額の約50%が配分され収入となる。

② 年末たすけあい募金

戸別募金：667,000円

1.3. 広報・公聴・啓発活動の充実

(1) 広報紙「社協やまきた」

広報紙「社協やまきた」を発行（毎月1回、年間12回発行）

社協事業（地域福祉活動）の周知や実施事業の紹介と報告、福祉情報の提供等を目的として毎月1回発行し、全世帯、賛助会員、関係機関等に配布しました。

(2) ホームページ

広報紙「社協やまきた」及び各地区福祉協議会の広報紙を掲載するとともに、社協事業（地域福祉活動）の周知や、実施事業の紹介などの提供を行うため随時更新しました。

(3) 社会福祉大会

町民に社会福祉についての意識を高めてもらうことを目的として開催しました。

開催日	場所	内 容
2月25日（土）	生涯学習センター	・福祉スローガンの発表と表彰 ・顕彰者の表彰（8名、2団体） ・講演会 演題：『私が「あきらめない心」を語るなら』 講師：佐野有美 氏（車椅子アーティスト）

●福祉スローガン

町民の福祉に対する意識の向上を目的として、福祉スローガンの募集と選定を行い、受賞者（最優秀賞1名、優秀賞2名）については、社会福祉大会において表彰を行いました。

<応募件数>

小学生：116名（123編）

中学生：157名（157編）

一 般： 10名（ 14編）

合 計：283名（294編）

<最優秀賞>

「1人の手 みんなの手 つながるひろがる ちいきのわ」

川村小学校5年 瀬戸 太聖 さん

<優秀賞>

「さしのべて つながり広がる 福祉の輪」

山北中学校3年 石田 佳希 さん

<優秀賞>

「差しのべる あなたの手から 福祉の芽」

岸地区 岡部 小百合 さん